



第126期中間 株主通信

2025年4月1日から2025年9月30日まで

日本特殊陶業株式会社

証券コード：5334

強い内燃機関事業をさらに強くしつつ、 非内燃機関事業を次世代の成長を担う新たな事業の柱へ

株主の皆さんには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期の概況

当中間連結会計期間における売上収益は3,511億71百万円、営業利益は719億91百万円となり、売上収益は過去最高となりました。自動車関連事業は米国の追加関税措置による需給への影響は顕在化しておらず、販売は前年同期比で増加したものの、主に円高進行による為替変動の影響を受け、営業利益は減益となりました。コンポーネント・ソリューション事業はSPE事業において生成AI関連用途の需要増や先端ロジック半導体向けの販売が堅調に推移し、また、当連結会計年度から連結子会社としたNiterra Materialsの売上も寄与したことにより、前年同期比で売上収益・営業利益ともに増加しました。

コア・アセットが最大活用できる領域に 経営資源を集中投資し、収益力向上を目指す

当社は、内燃機関産業の持続的な成長を支えるため、強い内燃機関事業をさらに強くしつつ、培ってきたコア・アセットを活用し、非内燃機関事業を次世代の成長を担う新たな事業の柱へと発展させることを目指しています。今年度からスタートする新たな中期経営計画では、当社の競争優位の源泉である「セラミックス」「ガス・センシング」の技術と、内燃機関事業で築き上げた「グローバル自動車顧客・販路」を選別し、注力領域を「モビリティ」



代表取締役会長

尾 堂 真 一



代表取締役社長
社長執行役員

川 会 尊

「半導体」「環境・エネルギー」に絞り込みました。これらの競争優位と親和性の高い領域にリソースを集中投資し、長期安定領域としての内燃機関事業と成長領域の新規事業を組み合わせることで、全体最適を図り、収益力の向上を目指します。

今年度では東芝マテリアル（現 Niterra Materials）の株式を取得しました。同社が持つ多様な分野での材料設計・プロセス、製品応用技術と、当社のセラミックスに関する知見やグローバルな顧客基盤を掛け合わせることで、モビリティ・半導体領域にとどまらない好循環に繋げていければと考えています。

株主の皆さんにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Segment Overview | セグメント別業績の概要

自動車関連

プラグ／センサ

売上収益
2,852 億円

営業利益
706 億円

当事業における新車組付け用製品の販売は、米国の追加関税措置による需給への影響は顕在化しておらず、米国を始め、グローバル全体でも前年同期比で増加しました。補修用製品の販売も堅調に推移しており、前年同期比で増加しました。しかしながら、営業利益については、主に円高進行による為替変動の影響を受け、前年同期比で減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上収益は2,852億2百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は706億54百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上収益49億68百万円、営業利益6億16百万円があります。
※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

コンポーネント・ソリューション

SPE／呼吸器／半導体PKG／窒化ケイ素／
燃料電池／その他事業

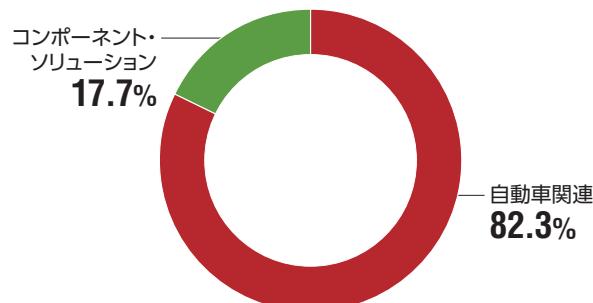
売上収益
614 億円

営業利益
7 億円

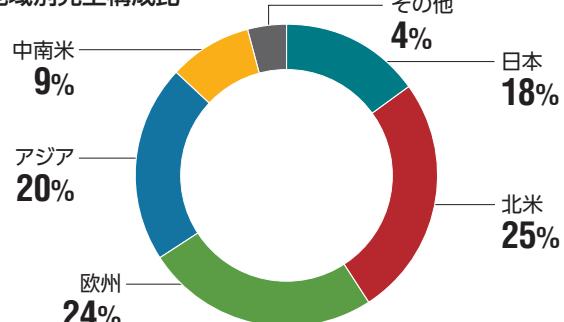
当事業は、SPE事業において生成AI関連用途での需要増や先端ロジック半導体向けの販売が堅調に推移し、また、当連結会計年度から連結子会社としたNiterra Materialsの売上も寄与したことにより、コンポーネント・ソリューション全体でも前年同期比で売上収益・営業利益ともに増加しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上収益は614億13百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は7億20百万円（前年同期は11億88百万円の営業損失）となりました。

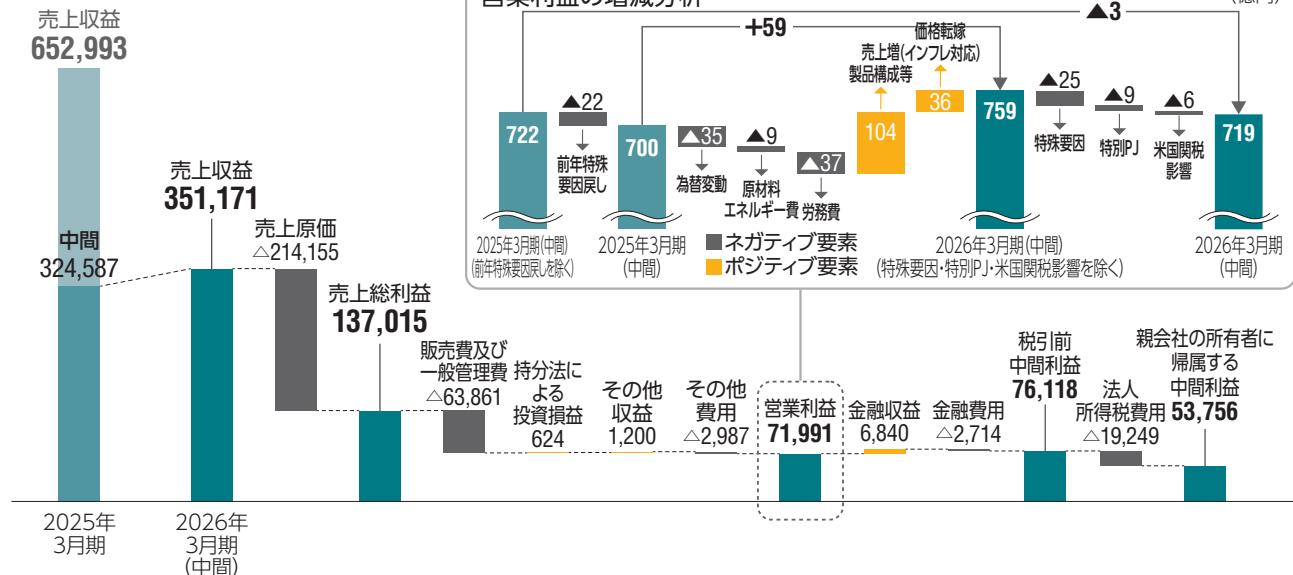
セグメント別売上構成比



地域別売上構成比



連結業績ハイライト (単位: 百万円)

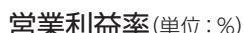


※上記グラフは非支配持分(3,112百万円)の表示を省略しております。

通期予想

2026年3月期 (単位:百万円)

売上収益	688,000
営業利益	130,000
税引前利益	129,000
親会社の所有者に 帰属する当期利益	90,000

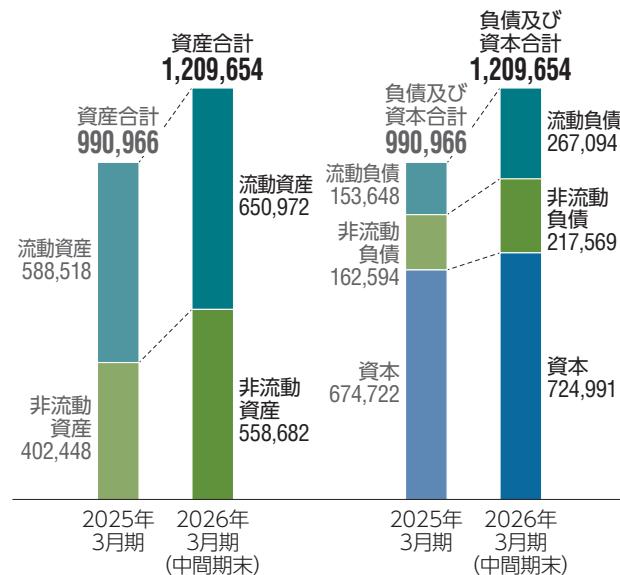


2022年 2023年 2024年 2025年 2026年
3月期 3月期 3月期 3月期 3月期

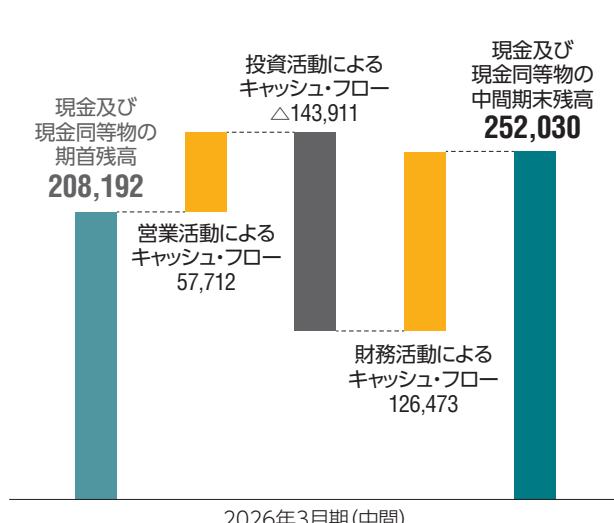
2022年 2023年 2024年 2025年 2026年
3月期 3月期 3月期 3月期 3月期

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財政状態計算書(単位:百万円)

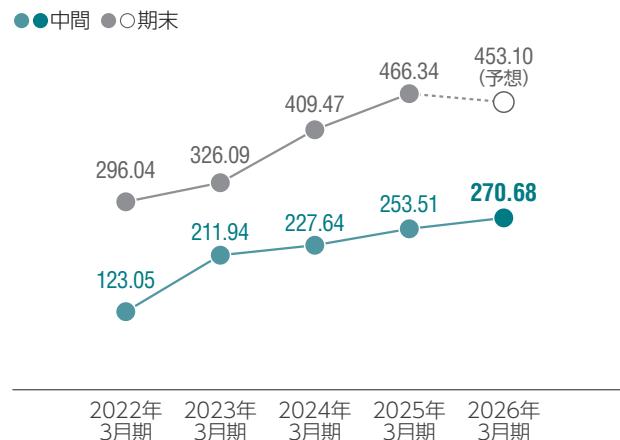


連結キャッシュ・フローの概要(単位:百万円)

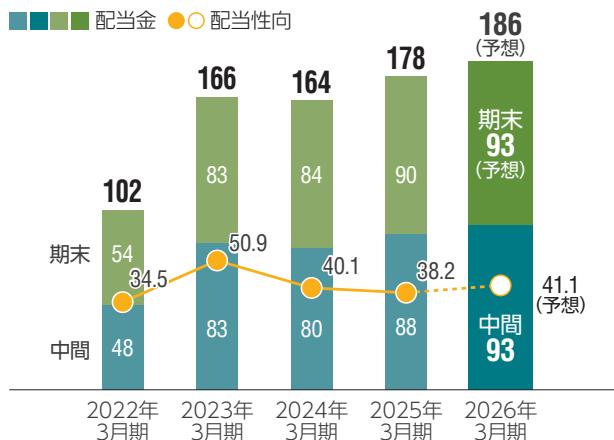


※連結キャッシュ・フローの概要は現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額(3,133百万円)の表示を省略しております。

基本的1株当たり当期利益(単位:円)



配当金(単位:円)・配当性向(単位:%)



東芝マテリアル株式会社(現 株式会社Niterra Materials)の株式取得(完全子会社化)

当社グループは、セラミック素材・加工技術をはじめとするコア・コンピタンスを核としながら主力の内燃機関事業を強固にすると同時に、非内燃機関事業の規模拡大を図る両輪での事業展開を大きな戦略テーマとして掲げています。中でも窒化ケイ素を利用したEV等のモーター用軸受けのセラミックボールでは、システム電圧の高電圧化に伴い市場が拡大しており、そのほかパワー半導体用の窒化ケイ素放熱基板なども有力な事業候補と捉えています。

■ 株式取得の理由

当社は2025年6月2日付で東芝マテリアル株式会社の全株式を取得し、同社は商号を「株式会社Niterra Materials」に変更しました。

当社においては、Niterra Materialsが車載・半導体・医療・環境エネルギー分野などで長年培ってきた材料設計技術、プロセス技術および製品応用技術などを活用することができ、Niterra Materialsにおいては、当社の持つセラミック技術との融合ならびにグローバルネットワークの活用を通じた顧客基盤の拡充・サポート体制強化が期待できるなど、さまざまな面においてシナジーを実現できると判断し、全株式の取得に至りました。

■ 株式会社Niterra Materialsの事業

Niterra Materialsは、ファインセラミックス、蛍光材料応用製品、磁性材料部品、タンクステン・モリブデンなどの部品・材料の開発、製造、販売をおこなっています。特に、EV等向けベアリングに使用される「窒化ケイ素ボール」やインバーター向けパワー半導体に用いられる「窒化ケイ素放熱基板」においては、優れた技術・品質と安定した生産能力から同業界のリーディングカンパニーとして今後さらなる成長が期待されています。

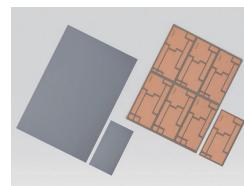
窒化ケイ素ボール

- モーター軸受の電食対策
- 軽量で高速回転でも使用可能
- 高い耐摩耗性で長寿命



窒化ケイ素放熱基板

- 小型化・高出力化
- 高い放熱性
- 高強度で長寿命



Niterra Materials WEBサイト

<https://www.niterramaterials.co.jp/>

株式会社デンソーとの間で事業譲渡契約を締結

当社は2025年9月1日付で、株式会社デンソーが運営するspark plug事業および排気センサ事業の譲受を決定し、同社との間で事業譲渡契約を締結いたしました。

各国がカーボンニュートラルの実現に向けた道筋を模索する中、引き続き内燃機関においても、継続した需要が見込まれます。当社は、コア技術であるセラミックの開発および製造技術を活かし、内燃機関製品の供給責任を果たすことによってカーボンニュートラルの過程に貢献することを目指しております。販路や生産体制の融合により、業界全体で最適な生産体制を構築することでグローバルでの安定供給を実現するとともに、当社の事業基盤をより一段と強固にすることが持続的な成長に資するとの結論に至り、本事業譲受を決定いたしました。

なお、本事業譲受の実行は、国内外の競争法当局によるクリアランスその他の法令上必要となる関係当局の許認可等の取得等、取引実行のための前提条件が満たされることを条件としています。

当社所属アスリート社員 上原 瑠果選手 アーチェリー世界選手権女子団体で銀メダル獲得



当社所属のアスリート社員である上原瑠果選手が、2025年9月10日に韓国で開催されたアーチェリー世界選手権のリカーブ女子団体において、見事銀メダルを獲得しました。この大会は2年に一度開催される大規模な国際大会であり、世界トップクラスが集う舞台でのその目覚ましい活躍は大きな感動を呼びました。

当社は、JOCの「アスナビ」を通じた現役アスリートの採用をおこなっており、安心して競技に取り組み、仕事と競技を両立できる環境を整えることで、世界を舞台に戦う選手たちをサポートしています。また、選手たちによるアーチェリーエクスペリエンス教室の開催など、地域社会への貢献にも繋がっています。現在所属の大橋朋花選手、上原瑠果選手に続き、2025年10月1日付で舟橋悠矢選手の採用を内定し、さらなる活躍に期待が高まります。当社のスポーツ支援やアスリート社員の活動については、特設WEBサイトや当社グループ公式Instagramでご紹介しています。ぜひご覧ください。



アスリート社員特設サイト

<https://www.niterra-athlete.com/>



公式Instagram

https://www.instagram.com/niterragroup_official



@NITERRAGROUP_OFFICIAL

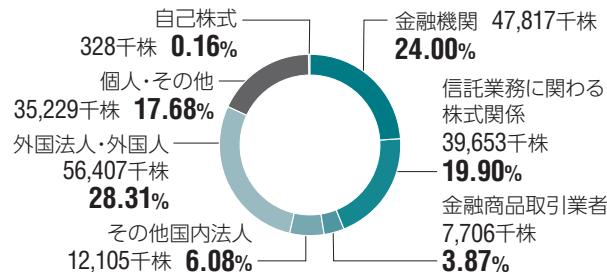
Stock Information | 株式データ (2025年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済株式の総数	199,247,720株
株主数	102,813名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	24,630	12.38
明治安田生命保険相互会社	16,794	8.44
第一生命保険株式会社	16,752	8.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	11,474	5.76
全国共済農業協同組合連合会	4,209	2.11
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,869	1.94
日本生命保険相互会社	3,563	1.79
ゴールドマン・サックス証券株式会社 BNYM	3,362	1.69
JP MORGAN CHASE BANK 385864	3,240	1.62
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,082	1.54

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定期株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先 (郵送先)	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京(プライム)・名古屋(プレミア)
公告の方法	電子公告によりおこないます。 公告掲載URL https://www.niterragroup.com/ir/public_notice/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意願います。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

【株式に関するマイナンバーお届出のご案内】

株式の税務関係の手続きには、マイナンバーの届出が必要です。まだお届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

Niterra 日本特殊陶業株式会社

事業内容や財務情報の詳細は当社WEBサイトをご参照ください。

 <https://www.niterragroup.com>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。